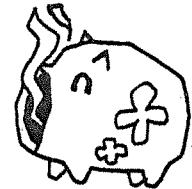




楠西 こみせん

第414号 (2.8)

楠西コミュニティセンター
運営委員会 広報部
☎ 902-4320



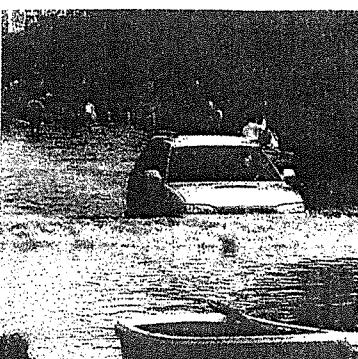
東海豪雨から20年! 現在の楠西学区を検証します!

今年7月の月初に日本全国で発生した水害から、平成12年にこの学区も被災した東海豪雨を、思い出した住民の方もたくさんいらっしゃると思います。（実際ご意見を多数頂戴しました。）そこで当時の資料より現在の楠西学区を検証してみます。

平成12年10月27日（金）に開催された「集中豪雨 水害対策 要望大会」より、各種の要望が話合われました。

1.洗い堰関連

- ◇庄内川からの流入口の閉めきり —— 流入口に堤防を設置しました。
- ◇洗い堰堤防のかさあげ —— 玄馬町側の堤防をかさあげしました。西区側とは高さの差があります。
- ◇庄内川・新川の河床掘削 —— 水害後数年間は目に見える成果がありました。その後の毎年の検証がされていません。
- ◇新川の河口に巨大ポンプ設置 —— 対応なし
- ◇新しい川（バイパス）を作る —— 対応なし



↑左から、林章高さん、河村市長、山本秀雄さん
(市役所本庁舎市長室にて)

市長 河村たかし

2.施設関連

- ◇避難所の増設 —— コミセン、小学校、北部市場、ポンプ所、神社社務所（臨時）、など
- ◇ポンプの増強 —— 排水ポンプ2機増設済
- ◇ポートの確保 —— 現在は小学校の体育倉庫にて保管。
- ◇臨時電話の開設 —— 無線機が小学校とコミセンに設置されました。
- ◇貯留池、遊水池をつくる —— 楠公園、大我麻公園、学校公園他に作られました。直径3.8mの雨水幹が南北に1kmほど埋設されました。

令和2年7月の月初に名古屋市長 河村たかし市長と水害当時の連合会長 林 章高さん、西区の山本秀雄さんに当時を振り返っていただきました。広報なごや 8月号に掲載されています。

楠西学区自治連合会



楠西学区では令和2年度の敬老会祝賀式典は開催いたしません。新型コロナウィルス感染拡大を懸念しての判断ですのでご理解をお願いいたします。それに代わって自治会員皆様の全世帯にマスク5枚、タオル1本、ティッシュ1箱、ボールペン1本をセットにしてお配りいたします。9月15日以降の配布となりますのでお待ちください。

楠西学区自治連合会



楠西地域ささえい事業 利用しましょう!

楠西学区では学区内にいる「困ったさん」のお宅にボランティアさんが駆け付け解決する、支えあい事業を実施しています。開設の日時は楠西コミュニティセンターの開館日の13時から17時です。ちょっとした困り事がありましたらご相談ください。

専用電話 080-3635-7435にお電話ください。

電球の交換・粗大ごみを出すお手伝い・生活必需品の買物のお手伝い・簡単な樹木の剪定など、ただし相談の内容によっては対応ができない場合もあります。

その他約40件ほどの苦情等がありました。個人的な事だったり金銭の要求だったり、税金の減免の要望などがほとんどですので、省略いたします。

以上平成12年・13年・14年と3年ほどかかって学区周辺の工事や改良がされました。平成22年には水害後10年のふりかえりもありました。今年は被災後20年になります。楠西学区では、昨年12月に大角連合会長が河村市長を尋ね、水害を風化させないためにも、当時を振り返って要望や再検証をお願いしてまいりました。学区では今後とも学区住民のみなさんが安心して、快適にお住まいできるよう、行政と連絡を取りあってまいります。自治会員のみなさんからのご意見は、各町内会長さんを通じて、集約させていただきます。